

## 人との関わりについて（学年集会講話より）

世の中に明るい兆しがみられる中ですが、木村 花さんの件は知っているでしょうか？  
正式なことは、はっきりしていないのですが、状況から判断すると、非常に残念な事件です。  
ちょっと前に3年A組「今から皆さんは人質です」のドラマでも扱われたように、  
ネットでの無責任な誹謗・中傷で、傷つけられている人が全国にたくさんいます。  
木村さんもその悲しい犠牲者の一人だと思っております。

皆さんが思っている以上に、人から発せられた言葉や活字にはものすごい力があります。  
時には、相手を元気にしたり、勇気づけたりできるプラスの力がある反面、  
人に嫌な思いをさせたり、生きる力そのものを失わせてしまうくらいのマイナスの力もあります。  
今回の木村さんの件は、言葉の力が大きなマイナスの力となって働いてしまい  
彼女の夢半ばにして、自ら命を絶ってしまうという事態になってしまったのだと思います。  
今回の件は、たまたまテレビ番組が発端になったので、世の中でも大きく取り上げられていますが、  
同じような残念な事件が、全国各地で起こっています。

「どこかの誰かに、たまたま起きた」ことではなく、

「言葉の使い方」と「人との関わり方」が原因なのだとすると、

私たちの身近でも十分に起こりえることです。

そんな時だからこそ、「言葉の力」と「人とのかかわり方」について、しっかり考えてもらいたいです。

私たち2年生のことに置き換えて考えてみましょう。

仲間との関わり方で、悩みを持っている人

周りからかけられた言葉で、嫌な思いをしている人 いないでしょうか？

「軽い冗談のつもりだった」「相手を傷つけようなんて考えていなかった」

よく、いじめ事件の後で聞かれる言葉です。

でも、ちょっと考えてください。あなたの言葉や行動に先にいる人は、あなたと同じ人ですか？

あなたが関わっている人が、あなたと全く同じ人で、あなたと全く同じ感性を持っているのであれば、その言葉は正しいかもしれません。

でも、あなたの言葉の先、関わりの先にいる人は「あなたとは違う人」です。  
考え方も、感性も、行動も、あなたとは違うのです。受け取り方だって当然違います。

あなたの言葉が・行動が、冗談にならない人もいます。  
あなたの何気ない言葉・行動で、深く傷つく人もいます。

皆さんに考えてほしいのは、

あなたの言葉かけや関わりで、他の人に嫌な思いをさせないよう、

自分以外のほかの人と接するときには、ぜひ「相手の目線」で関わってほしいということです。  
言葉に秘められたプラスの力を、みんなと自分のために使ってほしいということです。

2年生には、人とのかかわりが原因で、思い悩む人を出したくありません。

みんなのちょっとした気配りとやさしさで、実現可能なことです。

明日からの生活で、ちょっと考えながら生活をしてください。